

Space for your Smile

2019年3月期

## 株主通信

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード: 9412

衛星通信用大型アンテナ  
横浜衛星管制センター (YSCC)



SKY Perfect JSAT  
Holdings Inc.



代表取締役社長 米倉 英一

### TOP MESSAGE

#### スカパーJSATグループの成長と変革に挑戦します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年4月に株式会社スカパーJSATホールディングスの代表取締役社長に就任いたしました。就任にあたりご挨拶申し上げます。

当社は設立以来、メディア事業・宇宙事業を基盤に衛星放送と衛星通信サービスの両方を提供する日本で唯一の企業として、お客様に新しい価値を提供し続けてまいりました。しかしながらこれまでの延長線上のビジネスを続けているだけでは、変化の激しい競争環境を生き抜くことはできません。

デジタル社会が進展し、あらゆる空間にビジネスフィールドが拡張していく中、昨年当社は次の10年を戦い抜くために新たなグループミッション“Space for your Smile”と事業ビジョンを策定いたしました。我々に課せられた使命は、ひとり一人のよりよい明日の創造をめざし、未来志向の事業領域の拡大に挑戦することにあります。

私は新しいスカパーJSATを創造したいと考えております。そのためにさまざまな変革に挑戦してビジネスモデルを発展させ、お客さまやビジネスパートナーをはじめとするステークホルダーとより強固な信頼関係を築き、企業価値の向上を実現したいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

米倉 英一

**Q** 事業環境について  
教えてください

当社グループを取り巻く環境は、デジタル技術の革新を背景にした様々なプラットフォームの出現により急激に変化し、お客様のニーズもかつてないスピードで多様化・高度化しております。

こうした変化に対応するためまずは国内市場の足場を固め、基礎収益力を向上させた上で、アジアを中心に事業を拡大したいと考えております。

**Q** メディア事業の戦略について  
教えてください

昨年10月、テレビ1台分の料金で3台まで追加料金なしで50チャンネルが見放題となる「スカパー！基本プラン」の発売を開始し、新規加入件数の増加に寄与しております。また人気を博しているプロ野球セットは、セ・パ12球団公式戦を放送・配信で全試合生中継しております。

一方、インターネット動画配信サービス事業者とのコンテンツ獲得および加入者獲得競争は激化し、従来の有料放送サービスの充実だけでなく、お客様が本当に求める価値を提供していく必要があります。そのためにはメディア事業も異業種・異分

野のパートナーとも積極的に連携し、エンタテインメント分野での新しい楽しみ方や、生活分野で役に立つサービスを展開し、新しいライフスタイルをご提案してまいりたいと考えております。

**Q** 宇宙事業の戦略について  
教えてください

宇宙業界では、新たな事業者の参入により、ビジネスの環境が大きく変化しようとしています。こうした環境変化に対応すべく、従来型衛星よりも通信容量が大きい新規衛星の投入により衛星通信事業を強化していくとともに、新たな技術の活用や事業領域の拡大に取り組んでまいりま

す。通信事業の新たな領域として、低軌道の衛星通信システムや成層圏通信プラットフォーム事業の検討を開始しました。また、宇宙データを活用する分野への進出を進めています。衛星から得られる画像と宇宙から得られるデータと関連するデータをAI技術の活用により付加価値の高い情報としてお客様に提供するサービスを開発していきます。

今年度は、当社にとって重要なJCSAT-17、JCSAT-18の衛星打ち上げが予定されており、この打ち上げ成功に全力を尽くします。宇宙事業は自然災害等に対する社会的セキュリティの提供、国の安全保障への貢献、ニーズが高まる航空機・船舶向けインターネット回線提供など、皆様の安心や快適を支える社会インフラとして重要な役割を果たしています。

## Q | 会社をどのように 変革していきますか

グループ全体においては、より一層の経営の効率化と働き方改革を進めることによって、生産性の向上を目指します。株主様、お客様、お取引先、従業員、地域社会など全てのステークホルダーに向き合いながら、会社

の変革に挑戦し、スカパーJ SATグループの企業価値の向上に全力を尽くす所存です。「会社は変わる、変えるんだ」の気構えで、社長としての初年度に臨みたいと考えています。

## Q | 2020年3月期の業績予想 について教えてください。

宇宙事業においては、防衛省向け衛星引渡完了によりその売上が剥落します。今年度打ち上げ予定の衛星JCSAT-17、18は2021年3月期から売上に寄与する予定です。メディア事業では顧客維持とコストコントロールに努め、以下の通り2020年3月期の連結業績は減収増益となる見込みです。また、1株当たりの年間配当額は18円とさせていただきます。

## Q | グループミッションを わかりやすく教えてください

内閣府が提唱する「Society 5.0」で実現する社会は、IoT (Internet of Things) で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、社会の変革(イノベーション)を通じて、一人一人が快適で活躍できる社会と

されています。このような社会が将来実現するとの認識に基づき、当社グループは、昨年7月にグループミッション“Space for your Smile”を策定しました。このミッションのもと、事業を通じて人々の暮らしに安心や快適さ、楽しさをお届けすることで持続的な成長を目指します。革新的な情報通信インフラの提供によりレジリエントな社会や地域社会の発展、環境保全等の実現に取り組むほか、地域・社会の一員として、ステークホルダーとの協働により、より豊かな社会の実現に寄与してまいります。

## PROFILE

出身地  
東京都

好きなスポーツ  
野球、ゴルフ、  
アイスホッケー、サーフィン

好きな音楽・アーティスト  
エリック・クラプトン、  
サザンオールスターズ、  
ラフマニノフ、スピッツ

健康法  
朝風呂

## 2020年3月期 業績予想

営業収益

1,435 億円

前期比

12.5% 減 ▲

営業利益

150 億円

前期比

1.9% 減 ▲

親会社株主に  
帰属する当期純利益

100 億円

前期比

3.3% 増 ▼



## メディア事業

## 2019年3月期の取り組み

オリジナル番組投入による競合サービスとの差別化として、「宇多田ヒカル」「ゆず」の最新ライブやオリジナル連続ドラマ「I's」等を放送、スポーツコンテンツではJリーグYBCルヴァンカップやドイツ・ブンデスリーガ等の国内外サッカーを放送いたしました。2019年3月に開幕したプロ野球2019シーズンでは、セ・パ12球団公式戦全試合の放送・配信での生中継を実現いたしました。

また、お客様よりご好評をいただいた「スカパー！新基本パック複数台無料キャンペーン」に続き、2018年10月にはテレビ1台分の料金で3台まで追加料金なしで50チャンネルが見放題となる「スカパー！基本プラン」を発売し、新規加入件数の増加に寄与しております。さらに、2018年12月より「新4K8K衛星放送」がスタートし、新たに9つの4Kチャンネルがスカパー！に加わりました。

そして新たな収益の獲得及び事業領域の拡大のため、2018年6月に株式会社電通、株式会社アカツキ、株式会社東北新社と共同で、株式会社THRee entertainmentを設立いたしました。エンタテインメント領域においてコンテンツホルダーと共にコンテンツの企画・制作・運用を行うことを目的とした会社です。今後も新規事業領域への取り組み強化を図ってまいります。

## TOPICS

2019年シーズン プロ野球開幕  
セ・パ12球団公式戦放送・配信！

2019年の「スカパー！プロ野球セット」は日本で初めて放送と配信で、セ・パ12球団公式戦全試合生中継を実現しております。「プロ野球セット」をご契約の方であれば、追加料金なしでテレビはもちろん、スマートフォンなどでプロ野球中継をご視聴いただけます。さらに、「プロ野球セットアプリ」もリニューアル。ライブ配信がこれまでよりも観やすくなり、インニング速報や選手名鑑等の機能も追加いたしました。



## DREAMS COME TRUE 8ヵ月連続特集

スカパー！はデビュー30周年を迎えたDREAMS COME TRUEのメモリアルイヤーと一緒に盛り上げてまいります。ドリカムの最新ライブから名作ライブまで、貴重なライブの模様を毎月放送。12月には最新ツアーの独占放送も決定しました。さらに、「♪第3土曜日はドリカムの日♪」と題して、メンバーの素顔に迫る特別番組などを放送します。



## "NEWS" なスカパー JSAT

## 訪日外国人旅行者向けアプリ

## Portable News

2018年よりサービスを開始した「Portable News」は、海外有力放送局の無料ライブストリーミングを集約し、スマートフォン、タブレットで利用可能なアプリです。訪日外国人旅行者は「Portable News」を使い、日本滞在中も自国に関する情報を母国語で視聴できます。2019年3月5日より、総務省近畿総合通信局は、「もてなしと共生のための情報対策協議会」の活動の一環として、「Portable News」を利用して災害情報を多言語でスマホ向けに配信する実証運用を開始いたしました。災害時に災害情報を外国語で外国人に伝えるコミュニケーション基盤の形成、ならびに6月に大阪で開催されるG20首脳会合まで実験を行い、その後の実用化を目指しています。



## 宇宙事業

## 2019年3月期の取り組み

宇宙・防衛ビジネスでは、2018年4月に防衛省向けXバンド事業衛星1号機の打ち上げに成功し、その後も安定的な運用を継続しております。

グローバル・モバイルビジネスでは、2018年4月より、インド洋や太平洋の船舶向けインターネット接続サービスとして、従来よりも高速な次世代サービス「OceanBB plus」の提供を開始いたしました。2018年9月にはIntelsat S.A.との4機目の共同調達衛星 Horizons 3eの打ち上げに成功いたしました。本衛星は、当社グループ初のHTS衛星として、アジア・太平洋域で高まる航空機・船舶等のモバイル需要に対応いたします。

低軌道衛星関連事業領域の拡大への取り組みでは、Planet Labs Inc.(米国)の保有する多数の超小型地球観測衛星群により高頻度で撮影された衛星画販売サービスに関して、農業・災害対策・遠隔監視等の分野で需要が拡大し、順調に契約を獲得しております。なお、2018年12月にPlanet Labs Inc.へ出資し(右記トピックス参照)、2019年1月には当社グループと販売代理店契約を締結しているOrbital Insight Inc.へ出資しております。

衛星運用の安定性及び信頼性の確保と効率化としては、2018年4月にSuperbird-B2の後継衛星 Superbird-B3の打ち上げに成功し、7月より運用を開始いたしました。

## TOPICS

## 株式会社パスコと宇宙事業における業務提携で合意

2019年3月、スカパーJSAT株式会社は株式会社パスコとの業務提携に合意しました。両社が保有する技術及びリソースの有効利用を相互に行い、地上局を活用した低軌道周回衛星事業者向けのデータ送受信サービスの提供や、衛星データ利活用による付加価値の高いサービスの創出を目指します。



パスコ社より譲受の沖縄地上局

## Planet社と戦略的パートナーシップ契約締結

2018年12月、当社子会社である株式会社衛星ネットワークはPlanet Labs Inc.と戦略的パートナーシップ契約の締結および同社への出資を行うことで合意いたしました。2014年よりライセンス契約を結んでいた同社との関係を深化し、全地球常時モニタリングによる衛星ビッグデータビジネス市場を切り拓いてまいります。



Planet Labs Inc.の超小型衛星

## 来る“5G”時代に向けて

## STRAPS事業

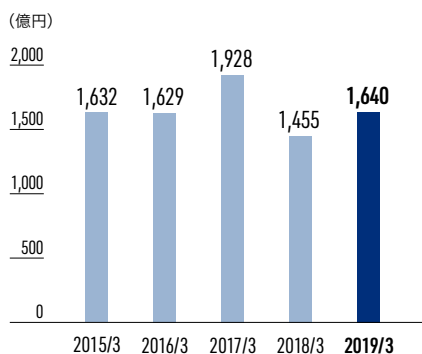
STRAPS(Stratospheric Platform Station)は、HAPSの一種で、成層圏から通信サービスを提供するプラットフォームです。当社の目指す飛行船型STRAPSは、超低遅延、圧倒的大容量通信が特徴で、搭載機器やサービスエリアを柔軟に変更できるメンテナンス性にも優れています。携帯事業者向け5Gバックホール回線やブロードバンド通信提供の他、観測データ収集・監視用リモートセンシングなど、来る5G時代のグローバルニーズに応えます。現在、Elefante Group社(米国)とLockheed Martin社(米国)が共同で、機体とサービスを開発し、アメリカをはじめアジア・中近東・アフリカでのサービス提供を検討中です。当社は、2023年度の国内サービス開始に向け、Elefante Group社と共同で市場性調査・事業検討を行っています。



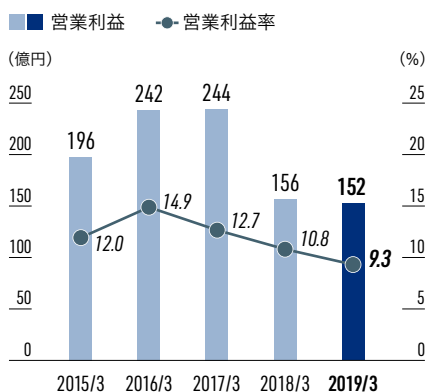
Elefante Group Inc. Proprietary &amp; Confidential and Lockheed Martin Proprietary information

STRAPS機体イメージ

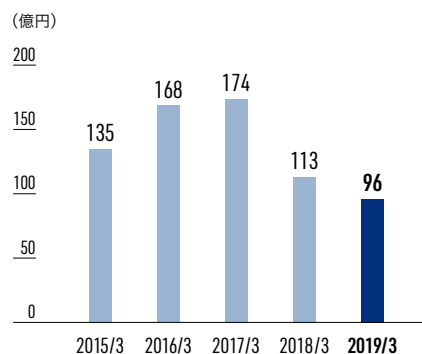
### 営業収益



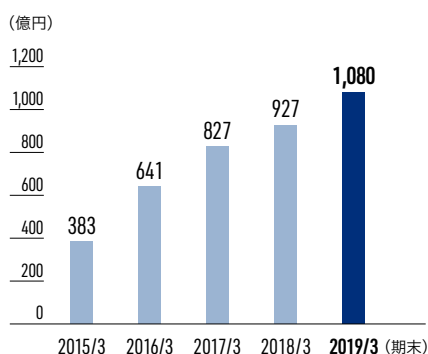
### 営業利益／営業利益率



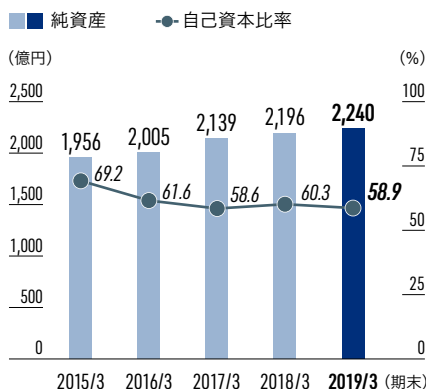
### 親会社株主に帰属する当期純利益



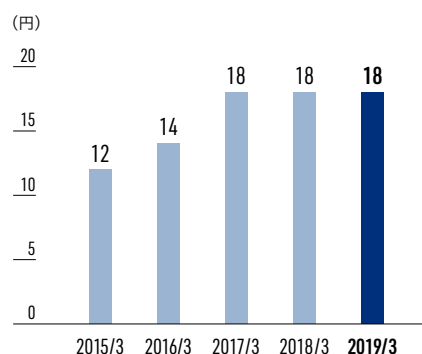
### 有利子負債残高



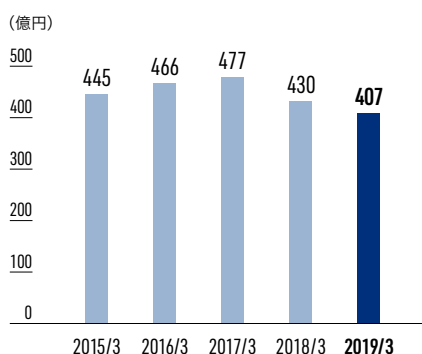
### 純資産／自己資本比率



### 1株当たり年間配当金

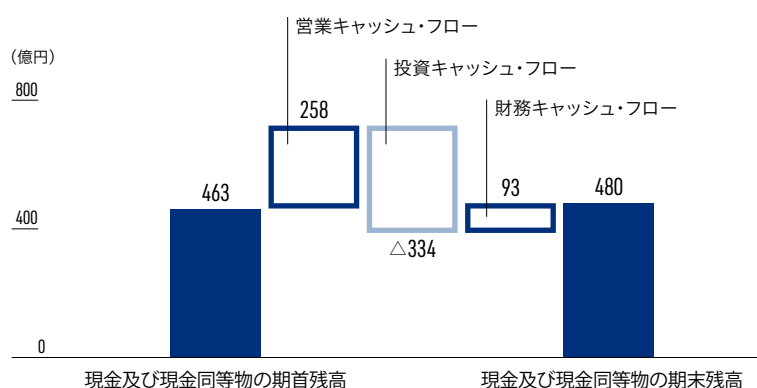


### EBITDA

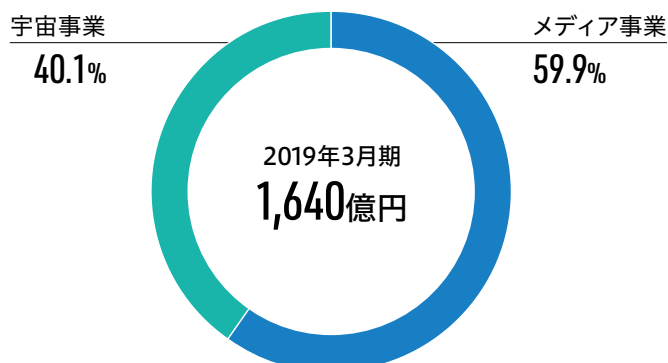


※ EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (減価償却費) + (のれん償却費) + (支払利息)

### キャッシュ・フロー (2019年3月期)



### セグメント別営業収益



### 加入の状況

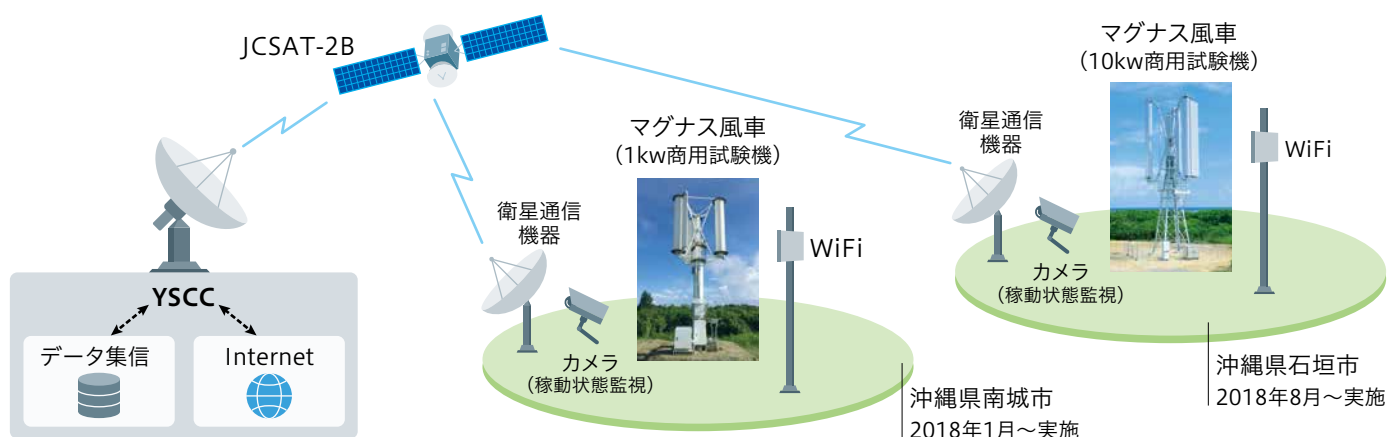
| 新規加入件数            | 2019年3月期実績 |
|-------------------|------------|
| スカパー! 合計          | 45.7万件     |
| スカパー!             | 40.4万件     |
| スカパー! プレミアムサービス   | 4.5万件      |
| スカパー! プレミアムサービス 光 | 1.0万件      |
| 純増数               | △1.5万件     |
| 累計加入件数            | 324.8万件    |



## 衛星通信と再生可能エネルギーによる未電化地域の解消への取り組み強化

2019年3月、スカパーJSAT株式会社は、台風のような強風下でも発電できる垂直軸型マグナス式風力発電機を開発した株式会社チャレナジーが行う第三者割当増資を引き受ける出資契約を締結しました。これまでの約1年間にわたる共同実証実験の結果、風力発電の電力で衛星通信機器を駆動し、風力発電機の稼働監視データを送信するとともに、その周辺に衛星インターネット環境を構築することができる見通しを得られました。この組み合わせにより離島・山間部等、世界に多く存在する電化の遅れたデバイドエリアに、クリーンな安定電源と高速なインターネット通信を同時に整備することが可能になります。

チャレナジー社とスカパーJSATグループは、再生可能エネルギーと通信インフラの提供を通じて、世界のあらゆる地域・人々への「不便が快適に変わる生活」のご提供にむけた取り組みを進めてまいります。



## 取引先との協働によるミャンマーでの寺子屋支援

スカパーJSAT株式会社では、2014年から“東南アジア教育支援プロジェクト”として当社グループの事業を通じた社会貢献活動を続けています。

2018年7月からは、取引先であるミャンマーの情報通信事業者Southeastasianet Technologies Myanmar Co., Ltd.との協働により、ミャンマー第2の都市マンダレーおよびシャン州において教育団体Monastic Education Development Groupが運営する3か所の寺子屋に向けて、2020年まで衛星設備・運営費用を支援することになりました。これにより教師のスキル向上やミャンマーの子供たちの教育機会の拡充を目指すと同時に、国連が掲げるSDGsの17の目標のひとつである「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」という目標の実現にも貢献してまいります。

今後も事業を通じた社会課題の解決に取り組み、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。



寺子屋に設置されたVSAT (小型地球局)



映像を見ながら授業を受ける子どもたち

## ステークホルダーとの対話

### 第12回株主様アンケート結果のご報告 & ホームページリニューアルのお知らせ

「第12回株主様アンケート」へのご協力、誠にありがとうございました。「当社企業ホームページ内情報の充実」への高いご要望にお応えし、2019年6月25日に当社のホームページを大幅リニューアルいたします。より早く知りたい情報にアクセスできるよう、皆様の利便性を高めるとともに、グループ企業も含めた情報発信の強化を図ります。

また、宇宙を事業基盤とする当社事業を体現するドメイン「.space」を用いたURL ([www.skyperfectjsat.space](http://www.skyperfectjsat.space))に変更いたします。

右のQRコードから新しいホームページをぜひ一度ご覧ください。



### IR活動に期待すること

- 1位 株主通信の充実
- 2位 当社企業ホームページ内情報の充実
- 3位 投資家向け説明会の拡充

## 会社概要

2019年6月21日現在

|      |                                                          |
|------|----------------------------------------------------------|
| 会社名  | 株式会社スカパーJSATホールディングス<br>(SKY Perfect JSAT Holdings Inc.) |
| 設立   | 2007年4月2日                                                |
| 資本金  | 100億円                                                    |
| 従業員数 | 864名(連結) 2019年3月31日現在                                    |
| 所在地  | 〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1                                   |
| 電話番号 | 03-5571-1500(代表)                                         |

### 取締役及び監査役

|         |        |          |       |
|---------|--------|----------|-------|
| 代表取締役会長 | 高田 真治  | 取締役(非常勤) | 中谷 巖  |
| 代表取締役社長 | 米倉 英一  | 取締役(非常勤) | 飯島 一暢 |
| 取締役     | 仁藤 雅夫  | 取締役(非常勤) | 小杉 善信 |
| 取締役     | 福岡 徹   | 取締役(非常勤) | 藤原 洋  |
| 取締役     | 大松澤 清博 | 取締役(非常勤) | 大賀 公子 |
| 取締役     | 小川 正人  | 監査役      | 西村 至  |
|         |        | 監査役      | 小川 晃  |
|         |        | 監査役(非常勤) | 國分 幹雄 |
|         |        | 監査役(非常勤) | 高橋 勉  |

## 株主メモ

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 決算期日    | 毎年3月31日                         |
| 定時株主総会  | 毎年6月                            |
| 上記基準日   | 毎年3月31日                         |
| 配当の基準日  | 期末配当3月31日 中間配当9月30日             |
| 取引市場    | 東京証券取引所 市場第1部                   |
| 証券コード   | 9412                            |
| 株主名簿管理人 | みずほ信託銀行株式会社<br>東京都中央区八重洲一丁目2番1号 |

### お問合せ先

**お取扱窓口** 証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問合せ下さい。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。

**お問合せ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

**お取扱店** みずほ証券 本店および全国各支店/プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)  
みずほ信託銀行 本店および全国各支店

**未払** みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
**配当金のお支払** みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次ぎのみとなります)

※支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

平成から  
令和へ

## 日本初の民間通信衛星の打ち上げ&事業開始から30周年を迎えました

30<sup>th</sup> Anniversary

5月1日、新天皇陛下即位と共に、新たな「令和」の時代が始まりました。皆様にとって、「平成」はどのような時代でしたか?

平成元年、それは、天安門事件やベルリンの壁崩壊など、世界史上で大きな動きのあった一年でした。そんな激動の中、日本初の民間通信衛星として宇宙へ飛び立ったのが、JCSAT-1。その3ヶ月後にはSuperbird-Aが打ち上げられ、「平成元年」はまさに「衛星元年」でありました。

市場ゼロから始まった衛星ビジネスですが、テレビ局、公営競技、官公庁、衛星有料多チャンネル放送へご利用いただくお客様が広がり、最近では海外企業や船舶・航空機向けインターネット回線などさらに広い用途で使用されています。

その社会的役割が大きく注目されたのが、平成23年の東日本大震災。政府、電力・鉄道などのインフラ公営企業の通信、テレビ局の中継——。災害時の衛星通信の果たす役割の大きさが社会に再認識され、「災害に強いネットワーク」として現在も多くの企業・官公庁にご利用いただいています。そして、平成30年9月、日本初のHTS衛星の打ち上げに成功しました。

最初の打ち上げから30年が経過し、これまで累計31機※の衛星を運用しています。衛星は、初期よりも大出力・大容量での通信が可能になり、最近ではソフトウェア化も進んでいます。宇宙ビジネスの注目度が高まる中で、新たな「令和」の時代も当社が業界をリードできるよう、社員一丸となって努めてまいります。

※共同衛星を含む



JCSAT-1  
平成元年打ち上げ



Horizons 3e (HTS衛星)  
平成30年打ち上げ



JCSAT-18  
令和元年打ち上げ予定

**免責事項** 本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

